

あきつ



No. 10 令和5年6月27日
校長 太良木 香江

体験することで学ぶ

新型コロナウイルス感染症の対応が緩和されたことにより、学校でもこれまではできなかった取組が再び行われたり、新たな試みにチャレンジしたりする様子が見られるようになってきています。その中で今回は2つの事例を紹介いたします。

先週は5年生が社会科の「米づくりのさかんな地域」の学習の一環としてJA湖東支店様と秋津営農組合長の上田様をはじめとする地域の農家の皆様のご協力により田植え体験を行いました。初めて田に入る子どもがほとんどだったようで、田に踏み入れた足の感触、そして苗を植える大変さを感じることができました。そして、子どもたちからもっと米づくりについて学びたいという感想が聞かれました。今は、田植えも機械で行いますが、そこまでに至る田の管理や苗づくり、水の管理、地球温暖化に伴う気象事象への対応等、私たちの食卓に米が届くまで多くの人々の苦労、努力があることを子どもたちは体験を通して知り、感謝という思いをもつことができました。



4年生は総合的な学習の時間に「だれもが住みやすい町をめざして」～福祉から学ぶ～をテーマに学習しています。今回は秋津まちづくりセンターの社会教育主事の兒玉先生からのご紹介で視覚障がいをもつ石坂さんをお招きして講話と点字体験を行いました。この体験を通して点字に興味をもった子どももたくさんいたということでした。そして、実際に目が不自由な方への案内の仕方のポイントを聞いたり体験したりすることを通して、相手の立場に立って物事を考える大切さについて学ぶことができました。この学習を通して学校、秋津校区にも様々な立場の方が生活しやすい工夫があることに気付き、そしてもっと暮らしやすくするために自分たちができることを考え、実践してもらえると嬉しいです。

このように子どもたちが体験することで新たに発見したり、気付いたり、また自分の生活を振り返って改善、実践していく等、大きな学びがあります。そしてなんととっても人とのふれあい、つながりができることが醍醐味です。今週も5・6年生の狂言の体験、3年生は秋津校区の施設や店を訪れインタビューを行います。どんな学び、出会いがあるかとても楽しみです。



スプリンクラーを設置しています。

児童昇降口横の渡り廊下付近にスプリンクラーを設置しています。これは熱中症対策として本校の学校主事の片山が製作したものです。昼休み後に稼働し、子どもたちからも「気持ちがいい」と好評です。

さて報道では新型コロナウイルスの感染状況が増加傾向にあると伝えていきます。併せて体調管理にも十分気を付けていきたいですね。

【 学校教育目標 】

一人一人が輝く、笑顔あふれる学校

自ら考え主体的に行動する人を育む教育の推進

～考える子・チャレンジする子・つながり合う子～



6月の生活目標 **ろうかは右側を安全に歩こう**
～思いやりの心をもって歩こう～

ホームページ
QRコード

